



コンパス住吉台

TEL : 中学校 090-9148-1396 Tel:小学校 070-1287-8026

住吉台中学校区
学校支援地域本部だより
令和4年度版

NO.8

令和5年1月26日発行



中学校



◆ 学習支援 ◆

昨年11月から12月にかけて、地域の方に授業のサポートをしていただきました。この学習支援は11年目になります。3名の地域の専門家の皆様には、コロナ禍となっても途切れることなく毎年ご指導いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。



《柔道》 継枝 喜美夫さん

継枝さんは泉区柔道協会の会員で泉区柔道スポーツ少年団の指導に携わっています。1, 2年生を対象にご指導いただきました。生徒たちは、礼に始まり礼に終わる武道の作法、柔道の受け身や技について学びました。また継枝さんは畳の上での所作、たたずまいについても、「大人になった時に必ず役立つもの」と、熱心に教えてくださいました。

《書道》 仲川 典子さん

仲川さんは住吉台で書道教室を主宰されています。全学年を対象にご指導いただきました。

仲川さんは、多目的ホールで書いている生徒の間を細かく回って、時に厳しく、時に優しく励ましながら生徒一人一人に対して熱心にご指導くださいました。生徒たちも積極的に手を挙げて指導を仰ぐ姿が見られました。



《ギター》 七戸 十志満さん

七戸さんは住吉台でギター教室を主宰されています。3年生の音楽の授業でギターをご指導いただきました。また学校所有のギターの調整など準備からお世話になりました。生徒たちは、七戸さんの「ギターを楽しむことが大事」という思いを受け、課題曲『少年時代』の練習に励みました。授業最終日の演奏は音色も美しく生徒の表情も満足気でした。





小学校



◆ 4年生 福祉の学習 ◆

4年生は、6月7月に様々な福祉の学習をし、「自分たちにできることは何だろう?」と考えお盆休みに地域の福祉施設や老人ホーム、グループホームの皆さんに自分たちの元気を届けようとビデオレターを作成しました。また、クリスマスには「クリスマスカード」を手づくりし、「学習発表会」のビデオと一緒にお届けしました。それぞれの施設からは、模造紙一面のありがとうのお手紙や、お返事のビデオレターが届きました。コロナ禍で訪問することはできなくなりましたが、4年生の心はちゃんと届いたようです。



◆ 6年生 先輩に学ぶとだんごさし ◆

1月19日、6年生は、先輩に学ぶ第7回目として住吉だいつ子代表の反田恵美子さんからお話を伺いました。住小では毎年PTA主催の「卒業を祝う餅つき会」が地域の協力を得て行われますが、ここ数年コロナ禍でついたお餅を食べることはできません。例年の餅つき会はできなくても、地域の人が6年間どのような思いでみんなを見守ってきたか、そしてこれからも「みんなの応援団」であること、「お餅は形、伝えたいのは心」であることをお話くださいました。翌20日には6年生は餅をつき、ついたお餅で「だんごさし」体験をしました。卒業まであと2か月、だんごの木がみんなを見守ってくれることでしょう。



◆ 読み聞かせボランティア ◆

社会学級読み聞かせボランティアの活動は、平成14年11月に始まり、昨年11月で20周年を迎えました。活動当初は5年生3クラスと3年生1クラスの計4クラスから始まったそうです。当初から現在まで続けている方は5名、現在は13名の方が毎週月曜日の朝、各学年に本を読んでくださっています。1月から、6年生には卒業に向けての読み聞かせが始まりました。また、3月には5年生以下に震災関係の本を読んでくださるそうです。

コロナ禍、2年弱活動ができなかったこともあり、今年の6年生が6年間で読んでもらえる本は134冊（1年生：52冊、2年生：32冊、3年生：28冊、4年生：3冊、5年生：4冊、6年生：15冊の予定）とのこと。心に残る本もきっとあることと思います。読み聞かせを通して本好きな子が増えたらうれしいですね。

